

第3回ユースオリンピックで金メダルを獲得！

アニカ・サーレ選手（和道流ノルウェー女子）



アニカ選手は、本年8月26日に東京武道館にて行われた第54回和道流空手道連盟全国大会、高校生女子の部にて優勝を果たした後、10月17日～18日に開催された「第3回ユースオリンピック競技大会（2018・アルゼンチン・ブエノスアイレス）」にて女子組手+59kgで金メダルを獲得いたしました。

この大会は4年に一度開催され、15歳から18歳までのアスリートを対象とした国際総合競技大会で、今年は10月6日～18日の13日間にかけて32競技241種目が実施されました。空手競技は、今大会でユースオリンピックに初採用され、組手の6種目で33の国と地域から計48選手が出場しました。

アニカ選手は決勝戦で日本の澤島さくら選手と対戦し、3つの「有効」ポイントを重ね3-0で優勝しました。

和道流ノルウェー連盟の優勝インタビューに対し「今回の優勝は自分の人生にとって、非常に大事な優勝です。大会直前にガンと診断された弟のために優勝したかった。今回の優勝は言葉で表しきれない、素晴らしい感覚です」と感慨深く心情を語りました。

2020年の東京オリンピックには、ノルウェー代表選手として出場することになるかも知れません。その際には和道流空手道連盟として応援をしたいと思っておりますので、Annika Saelid (アニカ・サーレ) 選手の動向を見守って行きます。

※ 写真は、第54回和道流空手道連盟全国大会におけるアニカ選手です。

